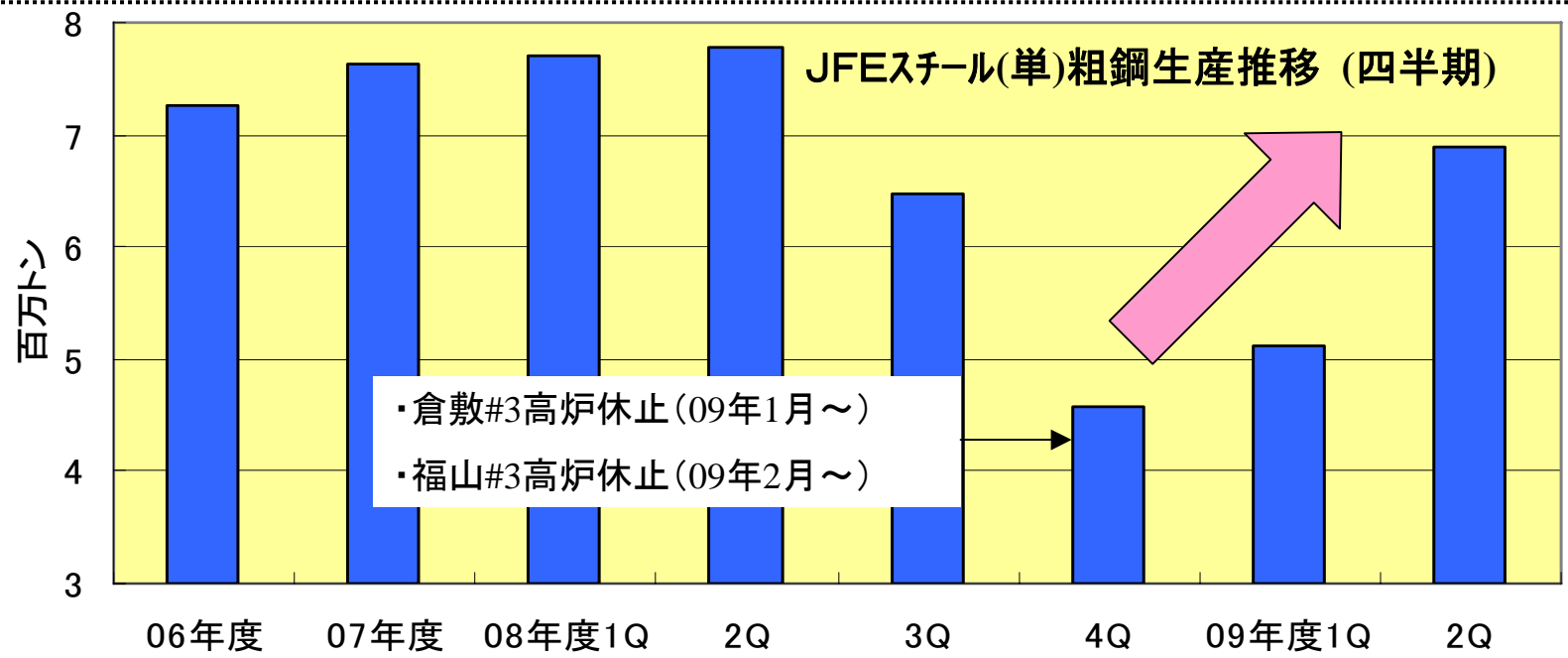




# JFEスチール西日本製鉄所(倉敷地区) 第3高炉の再稼動について

- 国内外特に、中国・ASEAN地域を中心とした高級鋼材(自動車、缶用、電機用など)需要の底堅い回復により、現有能力(高炉7基:2基は休止中)下でフル操業。(粗鋼生産量:ピーク比9割弱まで回復)
- 今般、この傾向が今後も継続すると判断。全社で最適な高炉操業体制を維持しつつ、需要増を確実に捕捉するため、当初の工事日程(2010/4完工予定)を前倒しし、2010/2中旬に倉敷3高炉を再稼動することとした。

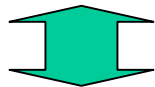


※ 06/07年度数値 ... 年度粗鋼量÷4  
08年度1Q～09年度2Q 実績値

# 【参考】2010年 需給見通し(アジア圏)

■ 2010年のアジア地域での需給はほぼ均衡

・需給増(約60百万トン)【WSA予測】



・供給増 約60百万トン(当社試算)。

ただし、新規設備立ち上げによる供給増は汎用品中心。

■ 高級鋼の需要増の確実な捕捉を図る。

【WSA鋼材見掛消費 短期予測(2009年10月)】 百万トン

地域	国	2007	2008	2010		09 vs 10	
				WSA予測	WSA予測	数量	伸び率
アジア	日本	80	76	53	61	+8	16%
	中国	431	443	526	553	+26	5%
	韓国	55	59	46	53	+7	15%
	その他	130	118	120	136	+15	13%
			<b>696</b>	<b>709</b>	<b>745</b>	<b>802</b>	<b>+57</b>
欧州・NAFTA他		530	498	358	404	+46	13%
合計		1,226	1,207	1,103	1,206	+102	9%

【2010年 東アジア地域での供給能力増(当社試算)】

**60百万トン程度**(うち中国 40百万トン程度)